

第2章 日本人観光客の来訪実態

2.1. 日本人観光入込客数

G P Sデータとインターネット調査結果を用いて葛飾区（全域）の日本人観光入込客数を推計したところ、令和6年度は年間298.4万人回^{注1}となった。新型コロナウイルスの感染が拡大した令和2～3年度は年間200万人回を下回っていたが、令和4年度には回復基調となり、その後増加傾向が続いている。

令和6年度の年間298.4万人回のうち、宿泊客数は11%（33.1万人回）、日帰り客数は89%（265.3万人回）を占める。

表2-1 葛飾区（全域）の日本人観光入込客数

（単位：千人回）

	観光入込客数（推計値）		
		宿泊客数	日帰り客数
令和2年度（2020年度）	1,756	149	1,607
令和3年度（2021年度）	1,893	171	1,722
令和4年度（2022年度）	2,687	282	2,405
令和5年度（2023年度）	2,810	289	2,522
令和6年度（2024年度）	2,984	331	2,653

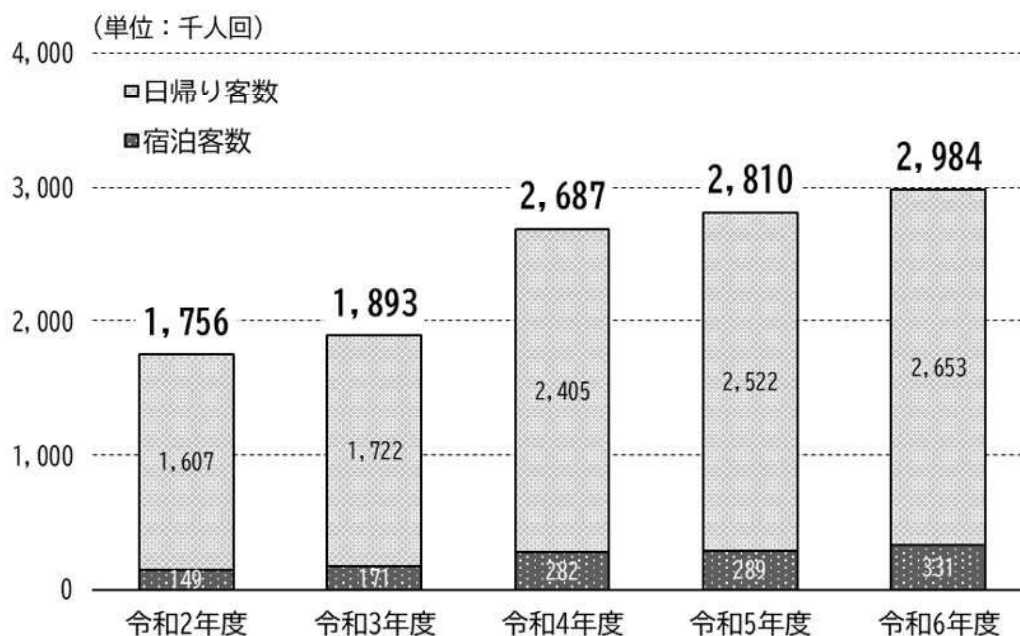


図2-1 葛飾区（全域）の日本人観光入込客数の推移

注1) 「人回」とは、1人の人が葛飾区を3回訪れた場合に3とカウントする単位である。

次に、令和6年度における調査対象地域別の観光入込客数を示す。先に推計した葛飾区（全域）の観光入込客数に対し、インターネット調査結果から得られた調査対象地域の訪問率を乗じることによって推計する。

観光入込客数が最も多い地域は【①柴又地域】であり、年間181.9万人回と推計される。次いで、【④亀有地域】が多く年間115.5万人回と推計される。

表 2-2 調査対象地域の観光入込客数（令和6年度）

		観光入込客数（推計値） （単位：千人回）	
			訪問率 （ネット調査結果より推計）
令和6年度 （2024年度）	葛飾区（全域）	2,984	100.0%
	①柴又地域	1,819	60.9%
	②金町・水元地域	839	28.1%
	③堀切地域	441	14.8%
	④亀有地域	1,155	38.7%
	⑤四つ木・立石地域	403	13.5%
	⑥新小岩地域	387	13.0%
	地域延べ合計	5,043	169.0%

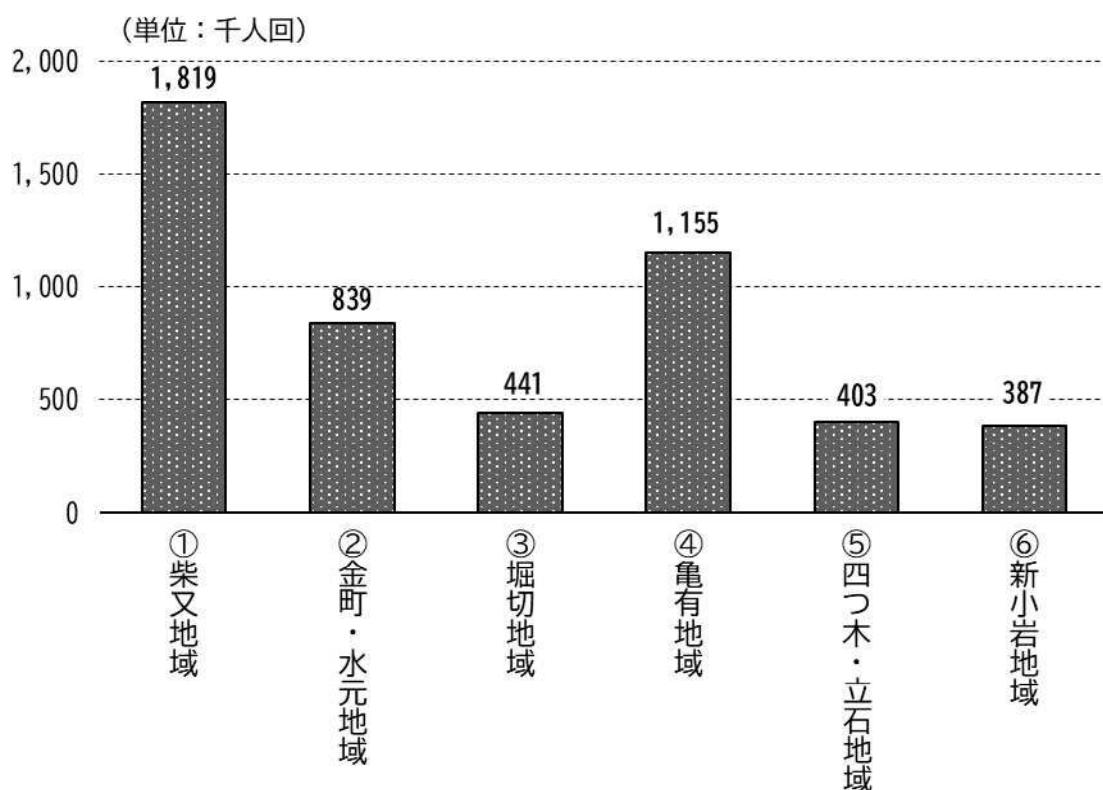


図 2-2 調査対象地域の日本人観光入込客数（令和6年度）^{注2}

注2） 調査対象地域の入込客数の延べ合計は、葛飾区（全域）の入込客数とは一致しない。

過去の観光入込客数との相違

葛飾区の観光入込客数の算出について、今回（令和6年度）はGPSデータに基づく推計方法を採用した。したがって、平成26～28年度の推計結果とは単純に比較できないことに留意されたい。なお、平成26～28年度当時の推計方法と比較すると、GPSデータに基づく推計方法では【②金町・水元地域】の観光入込客数が少なく、【③堀切地域】【④亀有地域】【⑤四つ木・立石地域】の観光入込客数が多い傾向がみられる。【②金町・水元地域】については、平成26～28年度当時は水元公園の駐車台数をもとに推計しており、地元客による日常的な利用者が含まれていた可能性が考えられる。

参考までに、インターネット調査結果における令和6年度の調査対象地域の訪問率を用いて、令和2～5年度の調査対象地域別の観光入込客数を算出した結果を表2-3に示す。

表2-3 調査対象地域の日本人観光入込客数の推移

	(参考) 過去の観光入込客数			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	平成26年度	平成27年度	平成28年度					
葛飾区（全域）	-	-	-	1,756	1,893	2,687	2,810	2,984
①柴又地域	1,664	1,743	1,835	1,070	1,154	1,638	1,713	1,819
②金町・水元地域	1,526	1,621	1,921	493	532	755	790	839
③堀切地域	83	111	97	260	280	397	415	441
④亀有地域	426	428	428	679	732	1,040	1,087	1,155
⑤四つ木・立石地域	130	131	131	237	256	363	380	403
⑥新小岩地域	-	-	-	227	245	348	364	387
地域延べ合計	3,829	4,034	4,412	2,967	3,199	4,541	4,749	5,043

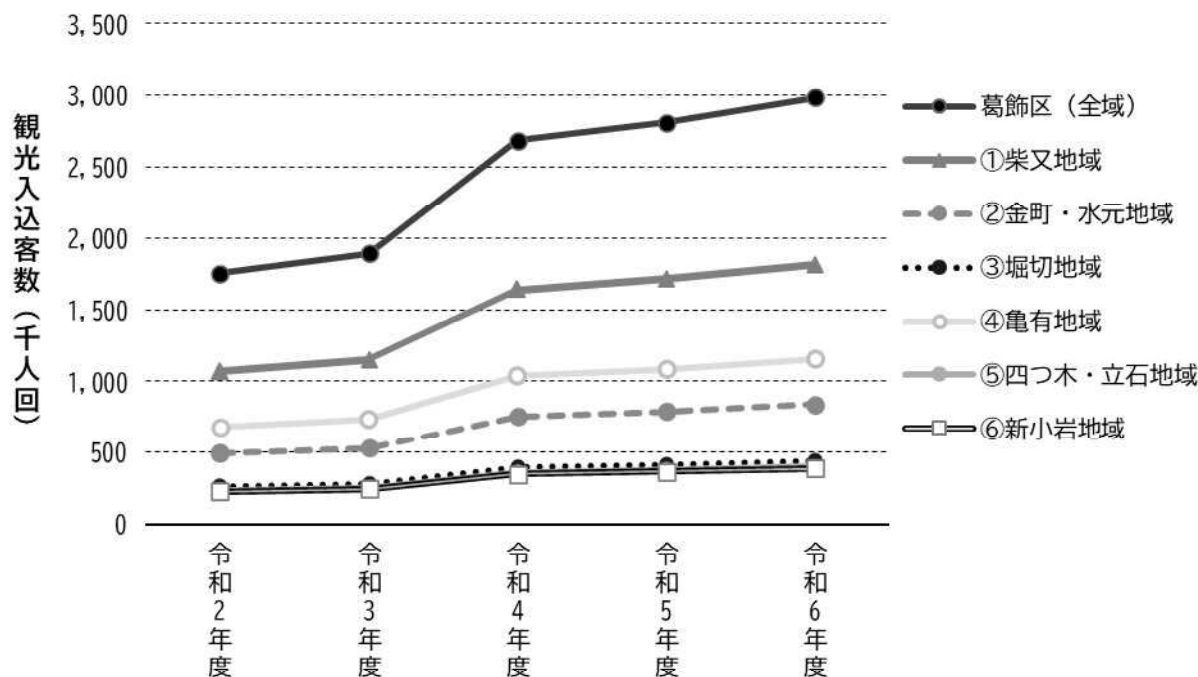


図2-3 調査対象地域の日本人観光入込客数の推移

2.2. 日本人観光客の来訪実態

葛飾区の日本人観光客の実態を、インターネット調査結果（令和6年度以降）とGPSデータ（令和6年度）を用いて明らかにする。なお、インターネット調査結果は人回単位（たとえば1人が1回の旅行で2泊3日葛飾区に滞在した場合は1人回とカウント）、GPSデータは人日単位（たとえば1人が1回の旅行で2泊3日葛飾区に滞在した場合は3人日とカウント）での集計であることに留意されたい。さらには、それぞれの計測または調査手法の特性上、両者の結果が必ずしも一致しない点にも留意が必要である。

1) 個人属性（性別、年代、居住地など）

葛飾区の日本人観光客には「男性」が多い傾向がみられる。年代別では、インターネット調査結果では若年層が少ないが、GPSデータでみると必ずしも若年層が少ないとはいえない。

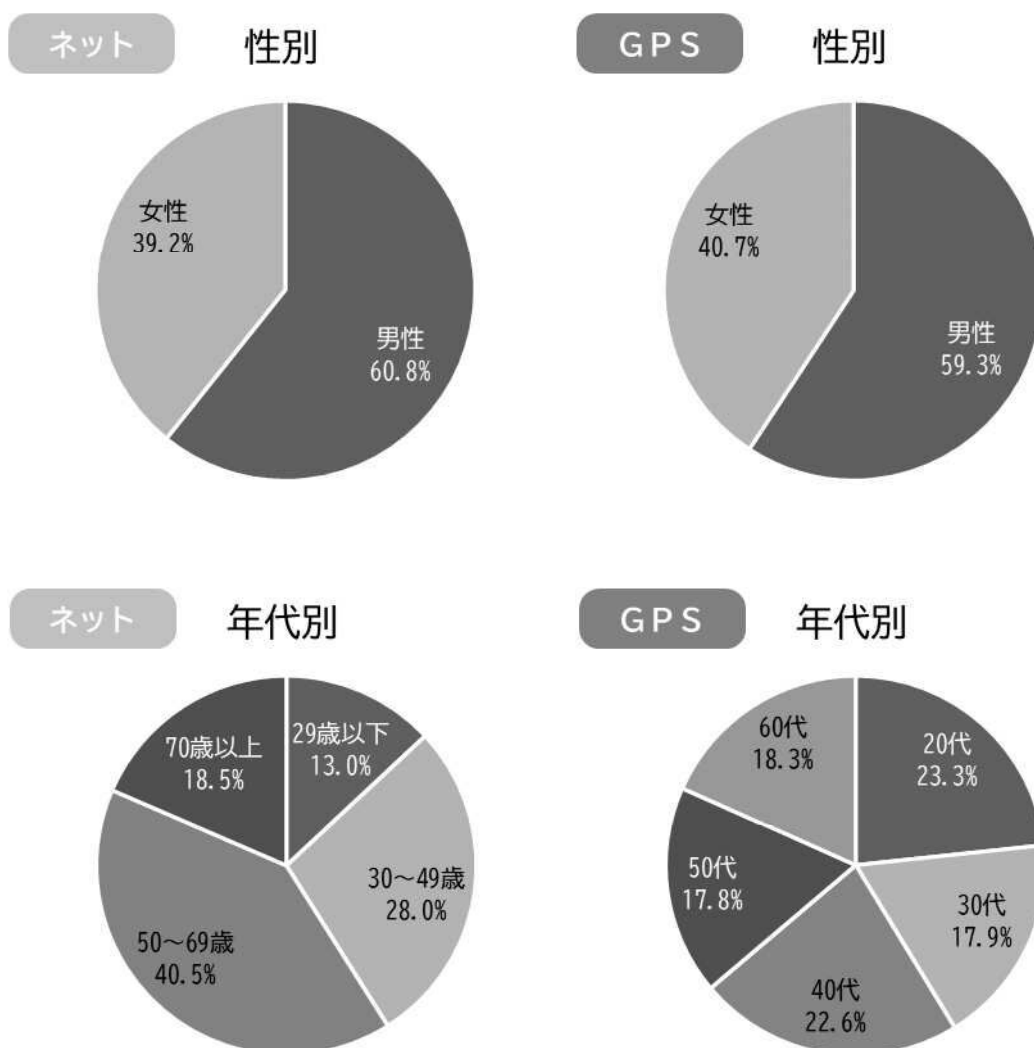


図 2-4 葛飾区を訪れる日本人観光客の性別・年代

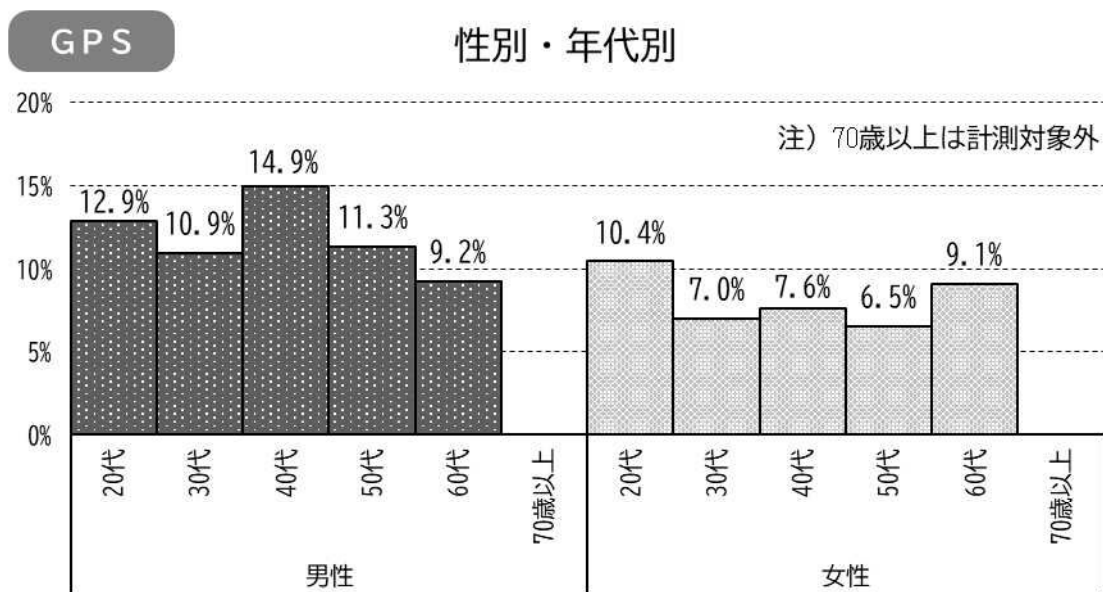
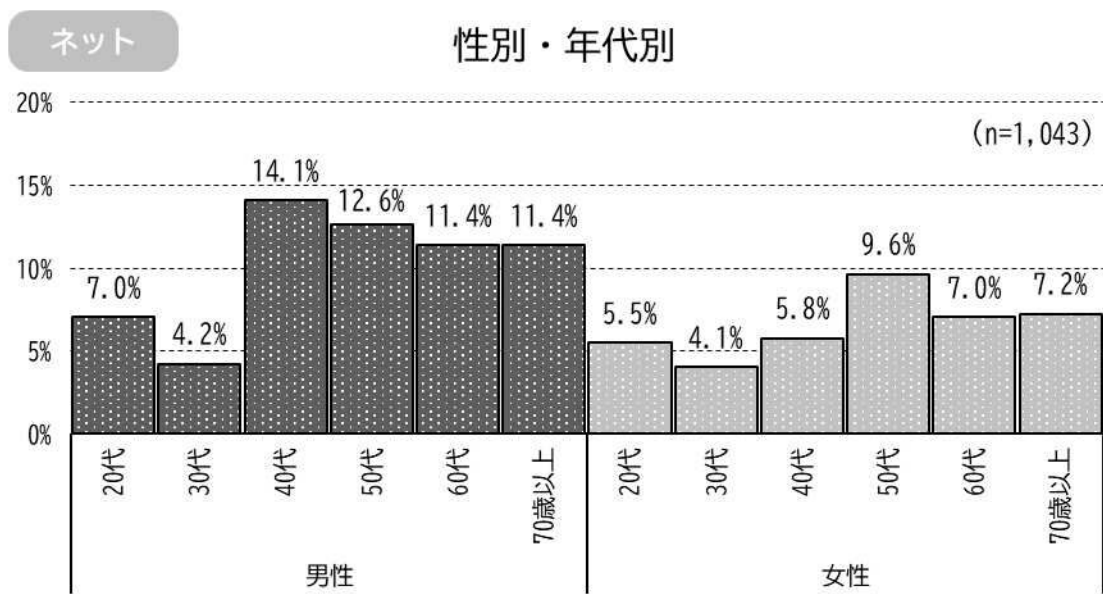


図 2-5 葛飾区を訪れる日本人観光客の性年代

葛飾区の日本人観光客の居住地をみると、インターネット調査結果では「東京都」が最も多く 30.6%を占め、次いで「千葉県」「神奈川県」「埼玉県」といった近隣地域が多い。これら 1 都 3 県で全体の 6 割超を占める。

一方、GPS データでは葛飾区から 20km 圏内が計測対象から除外されるため、「東京都」のシェアがインターネット調査結果に比べてその分小さくなる。1 都 3 県では、全体のおよそ 6 割を占める。

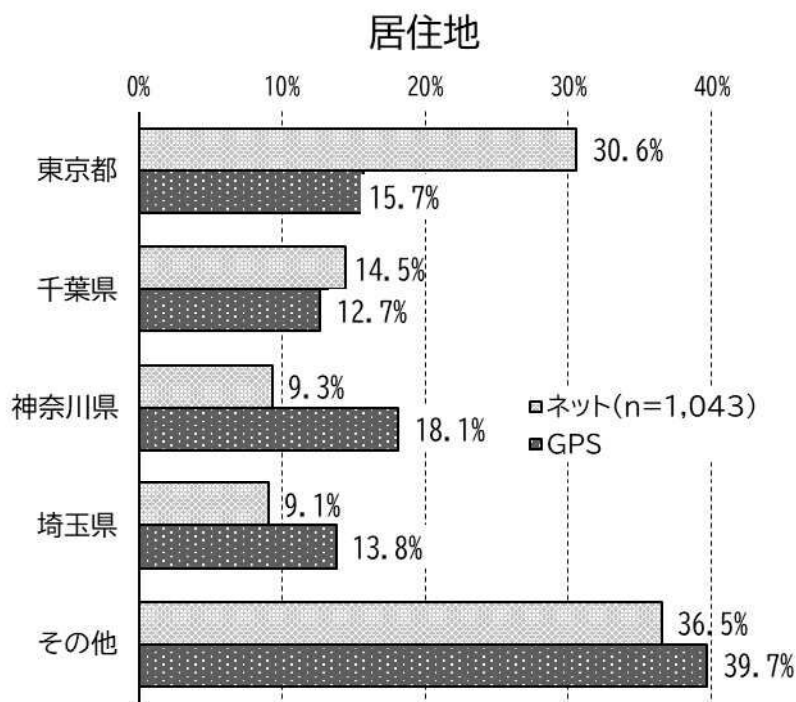


図 2-6 葛飾区を訪れる日本人観光客の居住地

2) 葛飾区を訪れる日本人観光客の特徴

葛飾区訪問経験者を対象とするインターネット調査結果等に基づき、葛飾区の日本人観光客のペルソナを整理する。「葛飾区を訪れる代表的な観光客像」を、年齢・性別・目的などを組み合わせて“ひとりの人物像”（ペルソナ）として把握することにより、実際の観光客の傾向やニーズを具体的にイメージすることができ、より効果的な施策の検討が可能となる。

▼葛飾区を訪れる日本人観光客 3つのペルソナ

【ペルソナ①】文化・歴史探訪型シニア層（シニア世代男性）	
属性	- 性年代：男性 70 歳以上 - 居住地：関東～全国 - 訪問頻度：5 回以上のリピーター - 同行者：夫婦または自分ひとり
行動特性	- 目的：「名所・旧跡」「葛飾柴又の文化的景観」 - 旅行形態：日帰り中心、個人旅行が主体 - 情報収集方法：テレビ、新聞、雑誌・ガイドブック - 立ち寄り：柴又地域への訪問率が高い - 交通手段：私鉄・地下鉄、JR、自家用車も利用
価値観・ニーズ	- 「歴史・文化」「下町の風情」「自然」に強い魅力を感じる - 満足度・再訪意向が非常に高い - 推奨意向も高く、友人知人へのおすすめ意欲が強い - 不便と感じる点は少ない
観光消費の傾向	- 名所・旧跡、伝統体験、老舗店での消費が中心 - 夫婦・単独利用が多く、質・体験重視 - 地元の名物料理や和菓子、お土産品を選ぶ傾向

【ペルソナ②】食・まち歩き中心の個人旅行者（ミドル層女性）

属性	- 性年代：女性 30 代～50 代 - 居住地：関東圏在住 - 訪問頻度：2 回以上のリピーターが多い - 同行者：友人・知人、3 名前後のグループ
行動特性	- 目的：「グルメ・食べ歩き」「まち歩き・ウォーキング」「買い物」 - 旅行形態：主に日帰り、個人旅行が主体（団体旅行は少数） - 情報収集方法：家族・友人等の口コミ、テレビ、Instagram - 立ち寄り：柴又地域、亀有地域への訪問率が高い - 交通手段：私鉄・地下鉄、JR 利用が中心
価値観・ニーズ	- 葛飾区の「食事」「下町の風情」「リーズナブルな価格」「お土産・ショッピング」に肯定的 - 主に日帰りだが宿泊時は「交通アクセス」「清潔感」「安全性」を重視 - 不便と感じる点は「区内移動」「トイレ」「案内表示」
観光消費の傾向	- グルメ・食べ歩き、カフェ、スイーツへの支出が高い - 商店街での惣菜・お土産購入も積極的 - SNS や口コミで話題の店舗・メニューに関心

【ペルソナ③】キャラクター・ポップカルチャー体験型若年層（20 代男女）

属性	- 性年代：男女 20 代 - 居住地：全国（関東以外も含む） - 訪問頻度：初回～2 回程度 - 同行者：友人・知人、単独
行動特性	- 目的：「漫画・アニメキャラクター巡り」「ロケ地巡り」「買い物」 - 旅行形態：個人旅行が中心だが、団体旅行利用も他層よりやや多い - 宿泊：民泊やユニークな宿泊施設を比較的利用 - 情報収集方法：Instagram、YouTube、TikTok、WEB サイト - 立ち寄り：亀有地域、キャラクター関連スポットへの訪問率高い - 交通手段：JR、私鉄・地下鉄、場合によってはレンタカー
価値観・ニーズ	- 「キャラクター」「食事」「リーズナブルな価格」に強い魅力 - 推奨意向が高い - 情報収集や案内表示の不便さを感じやすい - 災害情報・支援物品への関心は相対的に低め
観光消費の傾向	- キャラクター・アニメ関連グッズ、コラボ飲食への支出が高い - SNS 映えするメニューや限定イベント消費に積極的 - 友人同士や単独での回遊・食べ歩きが多い

3) 葛飾区内の観光地域ごとの特徴

次に、葛飾区訪問経験者について、葛飾区内の観光地域ごとの特徴を整理する。

【①柴又地域】歴史・文化・観光拠点、シニア層・初訪層中心	
日本人観光客の特徴	訪問率：全体で最も高い（57.2%） 年代：高年層ほど訪問率が高く、70歳以上では67%以上 訪問目的：「名所・旧跡」「葛飾柴又の文化的景観」目的層が多数 初回訪問者：訪問率が高い（63.5%） 交通手段：鉄道（私鉄・地下鉄 53.9%、JR45.6%）中心、リピーター層は自家用車利用も増加 ペルソナ：シニア層、文化・歴史探訪型、まち歩き・食べ歩き層
観光消費の傾向	- 観光・食・土産消費が中心、柴又帝釈天参道の食べ歩きや伝統和菓子、名所関連グッズが主力 - シニア層・文化探訪層の割合が高く夫婦・グループでゆったり消費 - 初回訪問層は観光地消費、リピーター層は体験型・高単価商品も利用

【②金町・水元地域】自然・リピーター層、ファミリーや長時間滞在型	
日本人観光客の特徴	訪問率：27.1%、訪問回数が増えるほど比率上昇 訪問目的：自然・公園、まち歩き、スポーツ等 ペルソナ：リピーター層、ファミリー層も一定数 交通手段：JR、私鉄・地下鉄、自家用車を併用 旅行形態：広域からの来訪、長時間滞在型
観光消費の傾向	- 自然・公園・アウトドア消費が中心：飲食（カフェ、ピクニックフード）、地元農産物、体験型消費 - リピーターやファミリー層が多く、長時間滞在での飲食・物販利用が伸びやすい

【③堀切地域】イベント・祭り・銭湯消費が中心、地元密着型	
日本人観光客の特徴	訪問率：14.9% 訪問目的：イベント・祭り、銭湯利用、まち歩き ペルソナ：地元・近隣住民、特定イベント参加者 交通手段：私鉄・地下鉄が最多
観光消費の傾向	- イベント・祭り・銭湯消費が主力で地元密着型 - 地元・近隣住民の利用が多く日常的な飲食・物販消費も多い

【④亀有地域】キャラクター・買い物目的、若年層中心

日本人観光客の特徴	訪問率：41.0%、若年層（15～29 歳）が 50.0%と高い 訪問目的：「漫画・アニメキャラクター巡り」「買い物」目的中心 ペルソナ：キャラクター・ポップカルチャー体験型若年層、グループ・友人同士 交通手段：JR 利用が最多、若年層で特に高い
観光消費の傾向	- キャラクター・ポップカルチャー消費が主力：こち亀関連グッズや飲食、イベント限定商品 - 若年層・友人グループ中心で SNS 映えや限定企画への消費意欲が強い - 買い物・飲食の“ついで消費”も多い

【⑤四つ木・立石地域】ミドル層女性や若年層の利用中心、地元密着型

日本人観光客の特徴	訪問率：12.5% 訪問目的：商店街巡り、食べ歩き、銭湯、イベント ペルソナ：ミドル層女性、若年層、地元住民 交通手段：鉄道中心、女性は自家用車利用がやや高い
観光消費の傾向	- 商店街・食べ歩き・地元グルメ消費が中心、惣菜やテイクアウト、B 級グルメの需要が高い - ミドル層女性や若年層の利用、地元密着型

【⑥新小岩地域】駅周辺でのビジネス・買い物・イベント消費が中心

日本人観光客の特徴	訪問率：13.5% 訪問目的：ビジネス、買い物、イベント ペルソナ：ビジネス利用者、若年層、女性単独・友人グループ 交通手段：JR 利用中心（62.4%）、女性は私鉄・地下鉄や自転車も
観光消費の傾向	- ビジネス・買い物・イベント消費が中心で、駅周辺での飲食や日用品購入が多い - 女性単独・友人グループ、ビジネス客など目的多様

4) 葛飾区内での宿泊施設の利用実態

葛飾区訪問経験者を対象とするインターネット調査結果等に基づき、葛飾区内での宿泊施設の利用実態について整理する。

1. 宿泊の傾向と宿泊数

葛飾区観光の訪問形態は「日帰り」が主流であり、全体の72.2%が区内への日帰り訪問である。「葛飾区内に宿泊した」は全体のおよそ1割を占める。なお、「葛飾区外に宿泊し、葛飾区は日帰りで訪問した」は16.6%と、区外宿泊を含めた滞在層も一定数存在する。

居住地別では、関東在住者の「日帰り」率が93.2%と圧倒的に高く、関東以外からの来訪者では「葛飾区内に宿泊」や「葛飾区外に宿泊」の比率が高い。

訪問地域別では、【⑥新小岩地域】で「葛飾区内に宿泊」が22.7%と高く、【①柴又地域】で9.2%と低い。

葛飾区内に宿泊した人の区内平均泊数は1.74泊である。「1泊」が宿泊客全体のおよそ6割を占めており、短期宿泊が主流である。

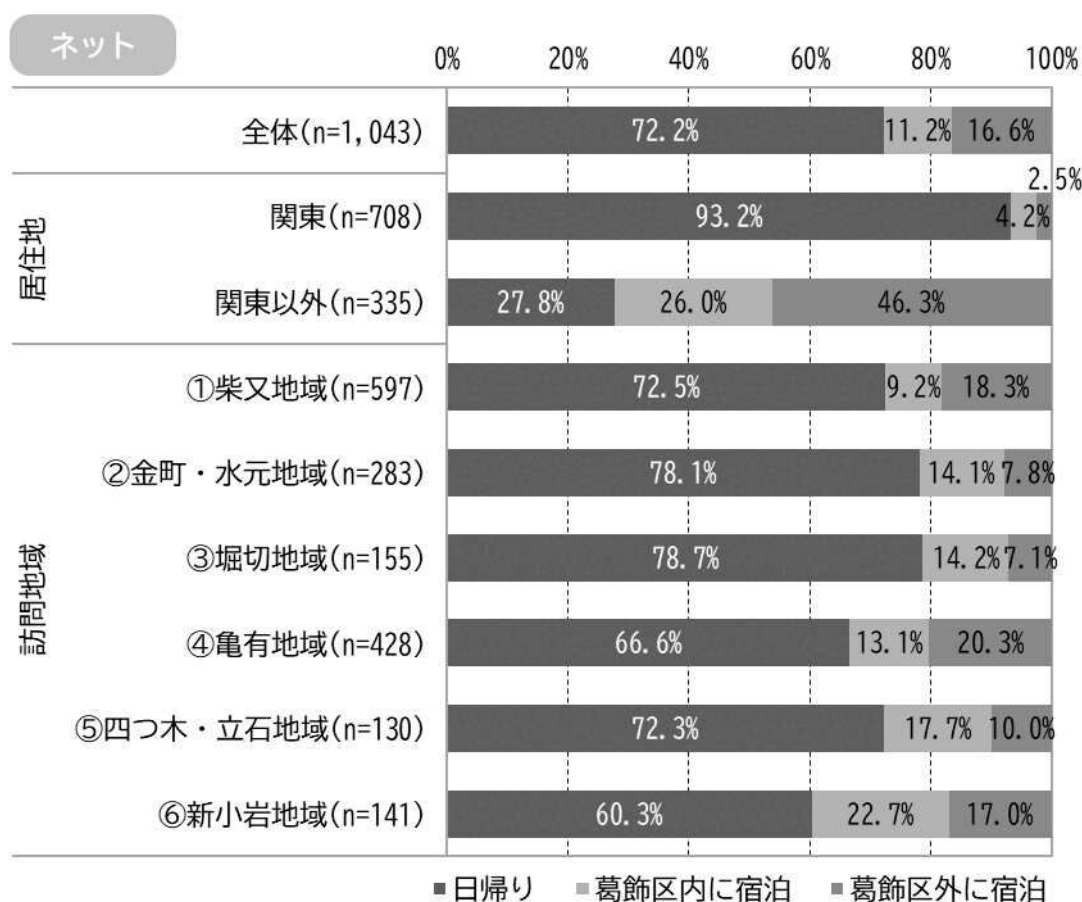


図 2-7 葛飾区内での宿泊の有無

2. 区内宿泊客の訪問地域

葛飾区内での宿泊客の訪問地をみると、「亀有地域」（区内宿泊客の 47.9%）と「柴又地域」（同 47.0%）が多い。次いで、「金町・水元地域」（同 34.2%）、「新小岩地域」（同 27.4%）と続く。

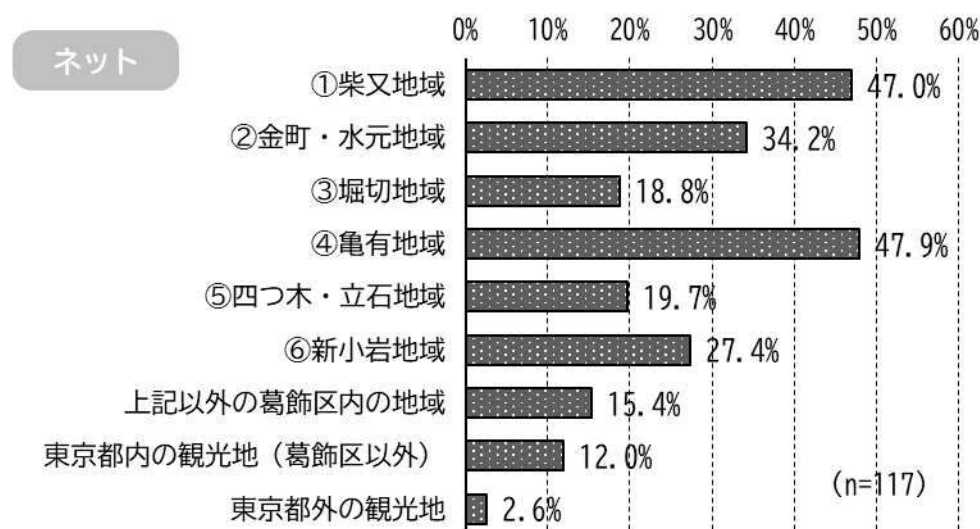


図 2-8 葛飾区内宿泊客の訪問地域（複数回答）

3. 区内の宿泊施設を利用した理由

葛飾区内宿泊施設の利用理由としては、「目的地へのアクセス・交通の便が良いから」が全体の 44.4%と最も多く、次いで「宿泊料金が手頃だったから」が 35.0%、「宿泊施設に魅力があったから」が 20.5%であった。男性では「宿泊料金が手頃だったから」が他の属性より高く、30～49 歳では「交通の便」重視が顕著となっている。目的別では、「漫画・アニメキャラクター巡り」層において「交通の便」「空港アクセス」の理由が特に高い傾向がみられた。

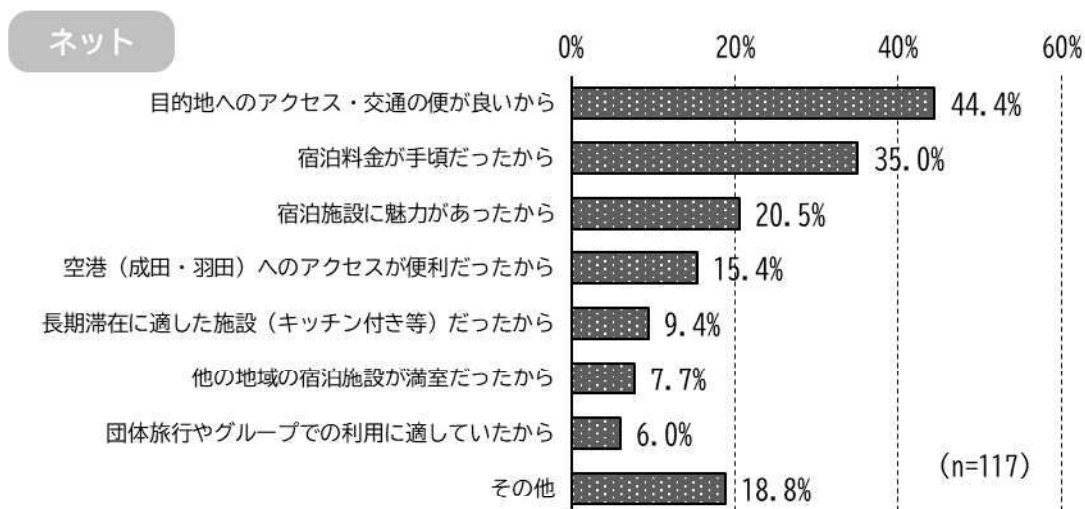


図 2-9 葛飾区内の宿泊施設を利用した理由（複数回答）

4. 宿泊施設を選ぶ上での条件

宿泊施設選定時に重視される条件は、「宿泊料金の安さ」が38.5%、「交通アクセスの良さ」が34.2%、「宿泊施設の清潔感」が24.8%と上位を占めている。男性は「宿泊料金の安さ」が46.0%と高く、女性では「交通アクセスの良さ」37.0%、「口コミ・評価の高さ」24.1%がやや高めであった。年代別では若年層で「宿泊料金の安さ」、60代で「交通アクセスの良さ」の高さが目立つ。目的別では「漫画・アニメキャラクター巡り」や「銭湯」利用者において、複数の条件が全体より高く重視されている傾向が確認できる。

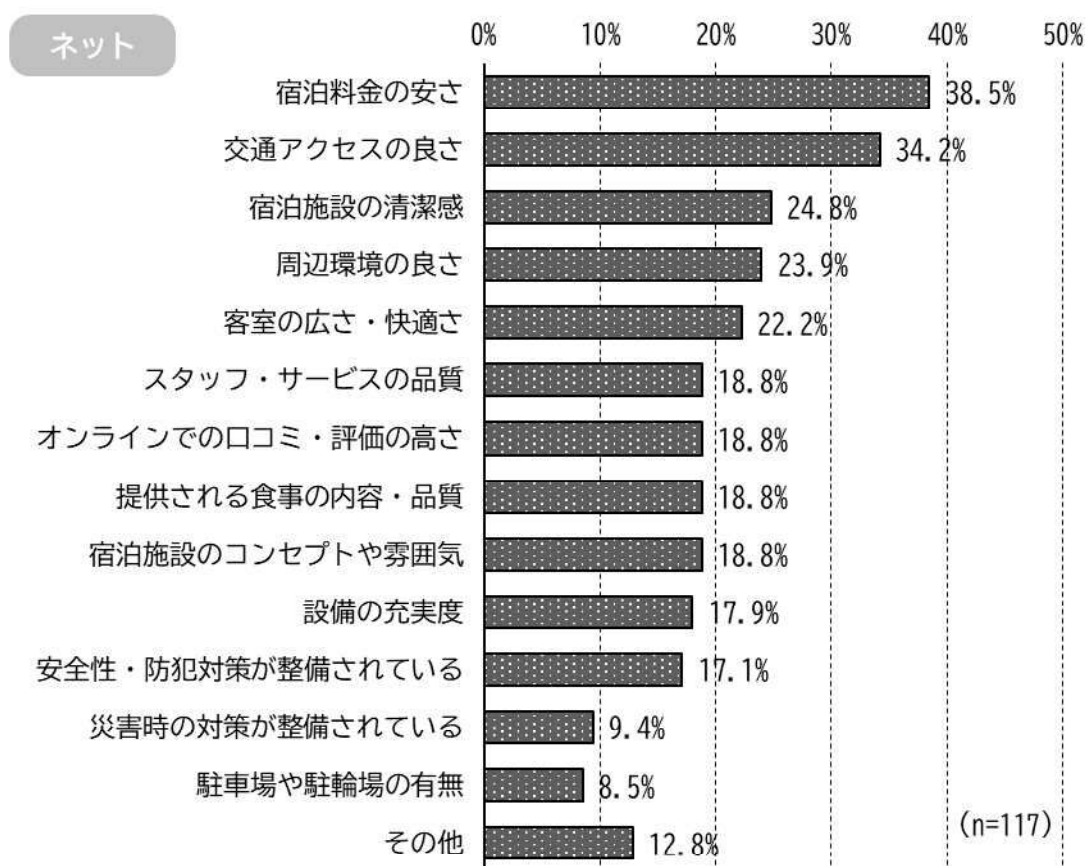


図 2-10 宿泊施設を選んだ際に重視したこと（複数回答）

5. 葛飾区内に宿泊した際に困ったこと

宿泊時の困りごととしては、「宿泊料金が想定より高かった」が19.7%で最も多く、次いで「客室が狭かった、または快適でなかった」(11.1%)、「スタッフの対応・サービスに不満があった」(10.3%)となっている。男性では「客室の狭さ」「スタッフ対応」「食事の不満」などが女性より高く、女性は「特に困ったことはなかった」が過半数を占める。30代・60代以上では「宿泊料金が安い」が24.4%以上、若年層では「清潔感への不満」が目立つ結果となった。目的別では「漫画・アニメキャラクター巡り」「博物館・記念館」層で料金、快適性、サービスへの不満が全体より高い傾向である。

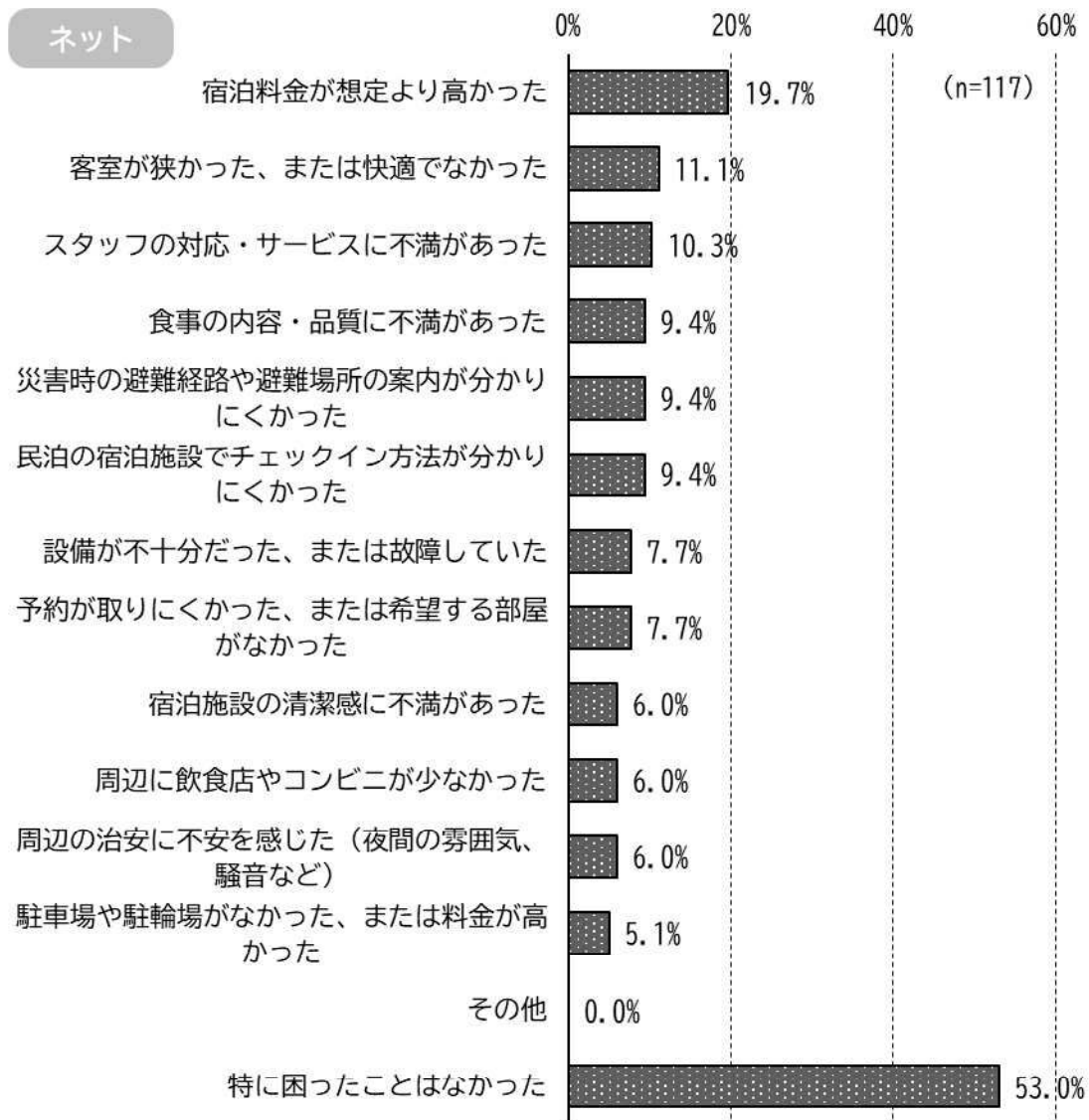


図 2-11 葛飾区内に宿泊した際に困ったこと（複数回答）

6. 民泊利用の実態

ホテル・旅館以外の住宅型宿泊施設（民泊等）の利用率は全体で 41.0% と高い水準であり、特に男性 52.4%、女性 27.8% と性別による差が大きい。年代別では若年層の利用が顕著である。訪問目的では「ビジネス・会議」や「漫画・アニメキャラクター巡り」で利用率が高い。

利用理由は「宿泊費を抑えたいから」が 52.1% で最多、「ホテルにはないユニークな宿泊施設に泊まりたいから」27.1%、「プライベートな空間を確保したいから」22.9%、「グループや家族と一緒に泊まりたいから」20.8% が続く。女性、30～49 歳、近畿・中国・四国エリアでは「宿泊費」重視が特に高い傾向が認められる。

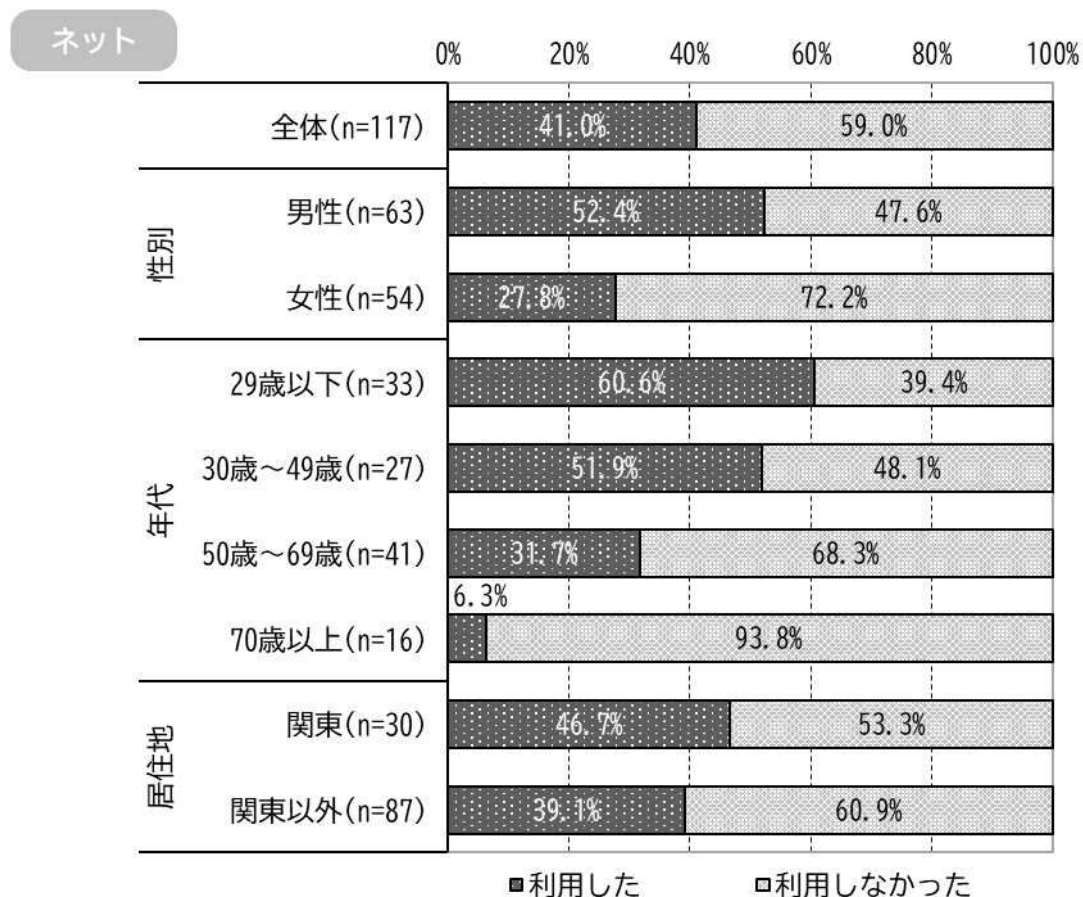


図 2-12 住宅型宿泊施設（民泊等）の利用率

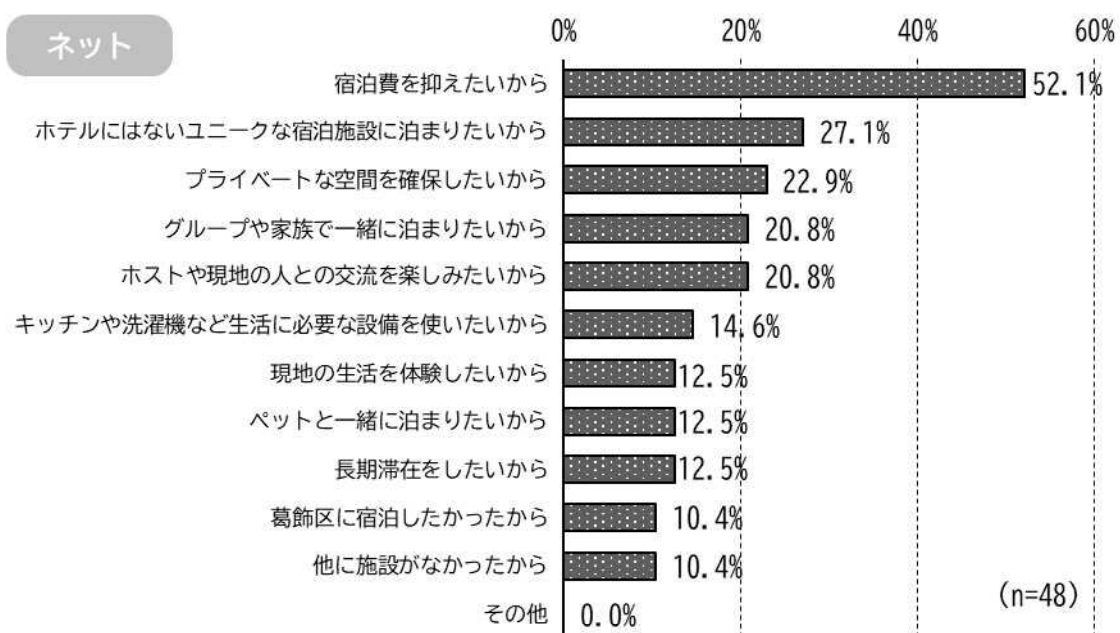


図 2-13 住宅型宿泊施設（民泊等）を利用した理由（複数回答）

7. 総括

葛飾区内宿泊施設の利用実態を俯瞰すると、交通アクセスの良さや料金の手頃さが主な利用条件となっている。若年層や男性は価格志向が強く、女性やシニア層はアクセス・ロコミ・清潔感などをより重視する傾向が顕著である。また、リピーター層は困りごとが少なく、初回訪問者や特定目的層では料金やサービス面での不満が目立つ。

住宅型宿泊施設（民泊等）の利用は区内宿泊客全体のおよそ4割と高く、若年層やビジネス、漫画・アニメキャラクター巡り目的での利用が見受けられる。

2.3. 日本人観光客の人流動態

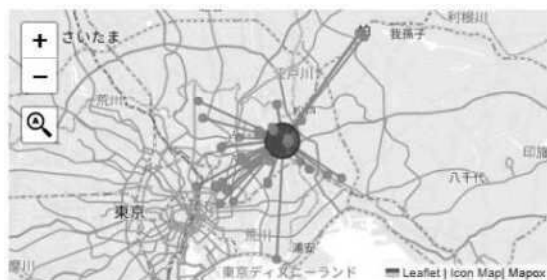
葛飾区を訪れる日本人観光客の人流動態について、GPSデータに基づき、葛飾区内の主要観光スポット毎に前後の来訪地の傾向を把握する。なお、目安として15分以上同一の観光スポットに滞在するとそれぞれの来訪者数にカウントされる仕組みである。

【①柴又地域】

柴又地域内では、まずは「柴又帝釈天」で参拝し、その後「帝釈天参道」や「寅さん記念館」を訪れる傾向がみられる。「寅さん記念館」の後は「山本亭」を訪れる人が多い。区内では、柴又地域とあわせて「水元公園」や「堀切菖蒲園」を訪れる動きがみられる。葛飾区以外では、「東京スカイツリー・東京ソラマチ」や「浅草寺・仲見世商店街」を訪れる観光客が一定数存在するが、訪問順としては柴又地域を訪れた後に「東京スカイツリー・東京ソラマチ」や「浅草寺・仲見世商店街」を訪れる人が多い。

【①柴又地域】 柴又帝釈天

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- 帝釈天参道
- 寅さん記念館（柴又公園）
- 浅草寺・仲見世商店街
- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- 山本亭

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

- 帝釈天参道
- 寅さん記念館（柴又公園）
- 山本亭
- 浅草寺・仲見世商店街
- 柴又観光案内所

【①柴又地域】 帝釈天参道

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- 柴又帝釈天
- 寅さん記念館（柴又公園）
- 山本亭
- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- 浅草寺・仲見世商店街

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

- 柴又帝釈天
- 寅さん記念館（柴又公園）
- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- 浅草寺・仲見世商店街
- 寅さんの碑

【①柴又地域】寅さん記念館（柴又公園）

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- 柴又帝釈天
- 帝釈天参道
- 山本亭
- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- 柴又野球場

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

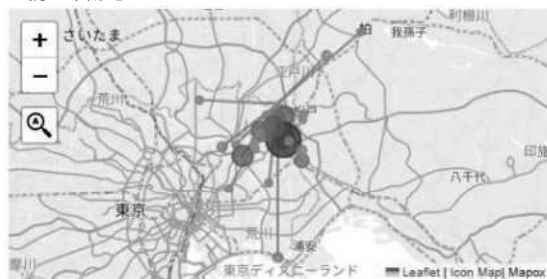
- 帝釈天参道
- 山本亭
- 柴又帝釈天
- 柴又野球場
- 東京スカイツリー・東京ソラマチ

【②金町・水元地域】

金町・水元地域の主要観光スポットは「水元公園」であるが、地域外や葛飾区外の観光スポットへの回遊の動きはあまりみられない。その中では、柴又地域の「帝釈天参道」との組み合わせが目立つ。

【②金町・水元地域】水元公園

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- 帝釈天参道
- 東京理科大学葛飾キャンパス
- 堀切菖蒲園
- 柴又帝釈天
- 葛飾区金魚展示場

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

- 帝釈天参道
- アリオ亀有
- 柴又帝釈天
- 葛飾区金魚展示場
- 東京理科大学葛飾キャンパス

【③堀切地域】

「曳舟川親水公園」の来訪者では、亀有地域の「アリオ亀有」や「亀有駅前商店街」、「葛飾区郷土と天文の博物館」との回遊が目立つ。「葛飾区郷土と天文の博物館」は曳舟川親水公園通り沿いに立地しているためアクセスは容易である。亀有地域へは多少距離があることから、車でのアクセスが多いものと推測される。なお、「曳舟川親水公園」は曳舟川親水公園通り沿いに長距離にわたり整備されており、この通りを通過する車移動も一部来訪者数として計測されている可能性がある。

「堀切菖蒲園」の来訪者は、そこを訪れた後に「東京スカイツリー・東京ソラマチ」や「帝釈天参道」「堀切水辺公園」「水元公園」「柴又帝釈天」「上野公園」を訪れる動きがみられる。

【③堀切地域】 曳舟川親水公園

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- アリオ亀有
- 亀有駅前商店街（南口）
- 葛飾区郷土と天文の博物館
- 四つ木駅前商店街
- 東京スカイツリー・東京ソラマチ

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

- アリオ亀有
- 葛飾区郷土と天文の博物館
- 亀有駅前商店街（南口）
- 亀有駅前商店街（北口）
- 上野公園

【③堀切地域】 堀切菖蒲園

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- 堀切水辺公園
- 上野公園
- 水元公園
- 帝釈天参道
- 東京スカイツリー・東京ソラマチ

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- 帝釈天参道
- 堀切水辺公園
- 水元公園
- 柴又帝釈天

【④亀有地域】

亀有地域では、「アリオ亀有」から「亀有駅前商店街（南口）」への動きが目立つ。他の地域との回遊の動きはあまりみられない。

【④亀有地域】 亀有駅前商店街（北口）

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- アリオ亀有
- 亀有駅前商店街（南口）
- スマイルホテル東京綾瀬駅前
- 両さん像（亀有駅北口）
- 香取神社

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

- 亀有駅前商店街（南口）
- アリオ亀有
- 両さん像（亀有駅北口）
- スマイルホテル東京綾瀬駅前
- 香取神社

【④亀有地域】 亀有駅前商店街（南口）

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- アリオ亀有
- 亀有駅前商店街（北口）
- 香取神社
- スマイルホテル東京綾瀬駅前
- 帝釈天参道

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

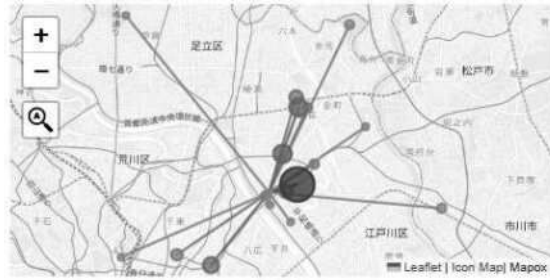
- アリオ亀有
- 亀有駅前商店街（北口）
- 香取神社
- 曳舟川親水公園
- スマイルホテル東京綾瀬駅前

【⑤四つ木・立石地域】

四つ木・立石地域では、「四つ木駅前商店街」の来訪者が「京成立石駅前商店街」や「曳舟川親水公園」を一緒に訪れる動きが観察される。また、「京成立石駅前商店街」や「かつしかシンフォニーヒルズ」の来訪前後に、「東京スカイツリー・東京ソラマチ」を訪れる動きがみられる。

【⑤四つ木・立石地域】四つ木駅前商店街

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- 京成立石駅前商店街
- 曳舟川親水公園
- 亀有駅前商店街（南口）
- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- 渋谷公園

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

- 京成立石駅前商店街
- 曳舟川親水公園
- 浅草寺・仲見世商店街
- 渋谷公園
- 東京スカイツリー・東京ソラマチ

【⑤四つ木・立石地域】京成立石駅前商店街

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- 渋谷公園
- 四つ木駅前商店街
- 浅草寺・仲見世商店街
- 帝釈天参道

▼後の来訪地

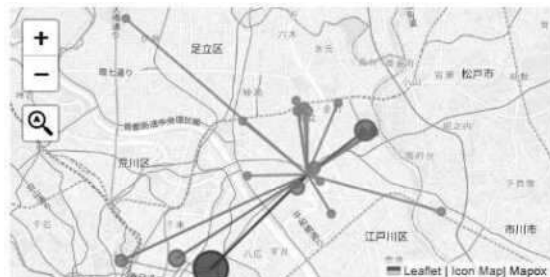


▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- 浅草寺・仲見世商店街
- 四つ木駅前商店街
- 渋谷公園
- 亀有駅前商店街（南口）

【⑤四つ木・立石地域】かつしかシンフォニーヒルズ

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- 帝釈天参道
- 浅草寺・仲見世商店街
- 京成立石駅前商店街
- 上野公園

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

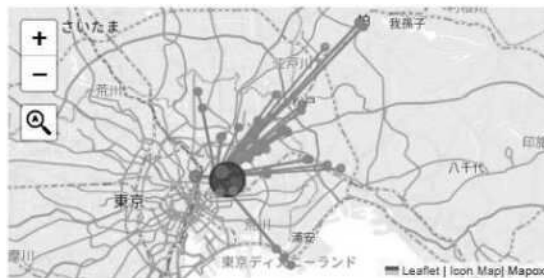
- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- ホテルアカイ
- 京成立石駅前商店街
- 浅草寺・仲見世商店街
- 上野公園

【葛飾区外】

「浅草寺・仲見世商店街」と「東京スカイツリー・東京ソラマチ」の回遊は多いが葛飾区への回遊の動きは少ない。柴又地域などへ回遊する動きが一定数存在する。

【葛飾区外】浅草寺・仲見世商店街

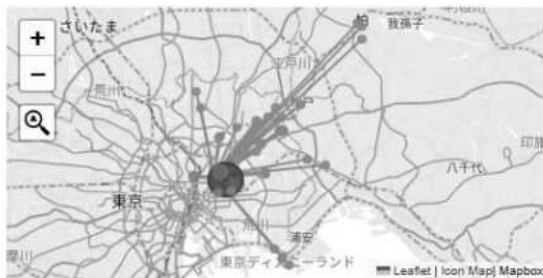
▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- 隅田公園
- 上野公園
- 帝釈天参道
- すみだ北斎美術館

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

- 東京スカイツリー・東京ソラマチ
- 隅田公園
- 上野公園
- 東京ディズニーランド
- 東京ディズニーシー

【葛飾区外】東京スカイツリー・東京ソラマチ

▼前の来訪地



▼当該スポットの前に訪れた来訪地 上位5スポット

- 浅草寺・仲見世商店街
- 隅田公園
- 上野公園
- 帝釈天参道
- 錦糸公園

▼後の来訪地



▼当該スポットの後に訪れた来訪地 上位5スポット

- 浅草寺・仲見世商店街
- 隅田公園
- 上野公園
- 東京ディズニーランド
- 帝釈天参道

次に、インターネット調査結果に基づき、葛飾区内の観光地域の回遊の動きを把握する。1回の旅行で訪れた葛飾区内の観光地域の組み合わせを集計すると、【①柴又地域】のみが18.5%、【④亀有地域】のみが11.1%と多いが、その次に【①柴又地域】と【④亀有地域】を回遊する日本人観光客が10.0%と多いことがわかる。【①柴又地域】と【②金町・水元地域】の組み合わせも5.7%とやや多い。

【①柴又地域】と【④亀有地域】を回遊する日本人観光客の客層をみると、居住地が「関東以外」、「葛飾区外に宿泊」、「漫画・アニメキャラクター巡り」を目的とする客層が多い。つまり、遠方からの宿泊客や、漫画・アニメキャラクター好きな客層には、【①柴又地域】と【④亀有地域】を回遊しやすくする施策を講じることで、利便性が高まるとともに、葛飾区全体としての誘客力を高めることが期待できる。

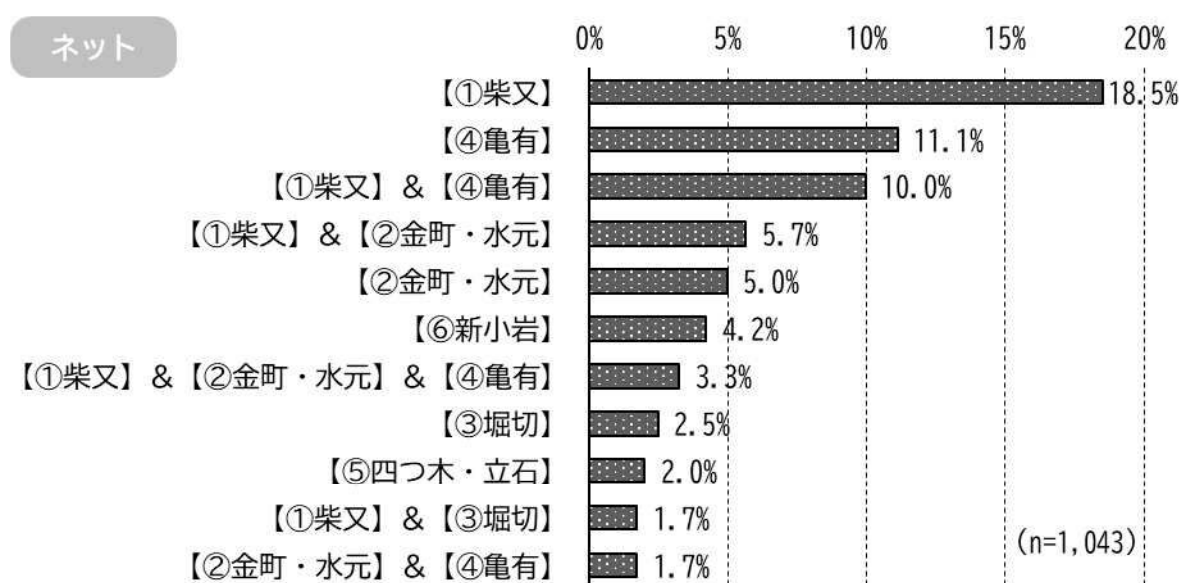


図 2-14 葛飾区内の観光地域の回遊状況（上位 10 の組み合わせ）

2.4. 葛飾区内での日本人観光消費額

令和6年度における葛飾区内での1人当たり観光消費額は13,823円/人回と推計される。このうち、日帰り客は8,048円/人回、区内宿泊客は44,794円/人回、区外宿泊客は15,431円/人回である。費目別では、「飲食費」(4,391円/人回)が最も多く、次いで「交通費」(3,146円/人回)が多い。区内平均泊数は1.84泊であり、1泊当たり宿泊費は6,779円/泊と推計される。

表2-4 葛飾区内での1人当たり観光消費額（令和6年度）

【葛飾区内1人当たり観光消費額】（費目毎0円を含む1人当たり平均）							（単位：円/人回）
	交通費	宿泊費	飲食費	土産・ 買い物費	入場・ 観覧費	その他	合計
（構成比）	3,146 （22.8%）	1,512 （10.9%）	4,391 （31.8%）	2,449 （17.7%）	1,104 （8.0%）	1,221 （8.8%）	13,823 （100.0%）
日帰り客	1,672	0	3,283	1,830	686	576	8,048
区内宿泊客	9,938	12,462	10,323	5,083	3,324	3,664	44,794
区外宿泊客	4,311	0	4,710	3,085	1,236	2,088	15,431

【購入率】（区内滞在中に支出した人の割合）						
	交通費	宿泊費	飲食費	土産・ 買い物費	入場・ 観覧費	その他
全体	89.2%	9.2%	89.0%	63.1%	43.9%	22.1%
日帰り客	87.4%	0.0%	90.0%	58.0%	37.5%	15.7%
区内宿泊客	95.5%	75.8%	93.9%	84.8%	65.2%	47.0%
区外宿泊客	91.8%	0.0%	81.4%	68.0%	54.6%	29.9%

【購入者単価】（費目毎0円を除く1人当たり平均）							（単位：円/人回）
	交通費	宿泊費	飲食費	土産・ 買い物費	入場・ 観覧費	その他	
全体	3,528	16,450	4,936	3,883	2,514	5,533	
日帰り客	1,914	-	3,646	3,155	1,828	3,660	
区内宿泊客	10,411	16,450	10,989	5,991	5,102	7,800	
区外宿泊客	4,699	-	5,784	4,534	2,262	6,985	

（参考①）1泊当たり宿泊費

	（単位：人回）	（単位：泊）	（単位：円/泊）
	1人当たり宿泊費	区内平均泊数	1泊当たり宿泊費
区内宿泊客	12,462	1.84	6,779

（参考②）民泊を含む住宅を活用した宿泊施設利用者の葛飾区内1人当たり観光消費額

（単位：円／人回）

	交通費	宿泊費	飲食費	土産・ 買い物費	入場・ 観覧費	その他	合計
区内宿泊客	9,938	12,462	10,323	5,083	3,324	3,664	44,794
うち民泊等宿泊客	9,889	16,222	12,704	6,315	5,996	5,774	56,900

2.5. 葛飾区訪問未経験者の葛飾区観光に対する意識

葛飾区訪問未経験者を対象とするインターネット調査結果を観察しながら、潜在市場へのアプローチの方向性を考察する。

1. 国内旅行を計画するときの観光情報源 ～情報源の多様化と属性間の差異～

観光情報源は「テレビ (34.4%)」「その他インターネット (30.6%)」「雑誌・ガイドブック (29.4%)」「YouTube、TikTok 等の動画共有サイト (29.2%)」が上位を占め、伝統的メディアとインターネット双方が主要な情報源となっている。

性別・年代・地域別で利用メディアに顕著な差があり、女性は「テレビ」「ロコミ」「行政メディア」の活用が男性より高く、男性は「YouTube 等」をより利用。若年層 (15～29 歳) は「YouTube 等」「ソーシャルメディア」の活用が目立ち、70 歳以上は「テレビ」「旅行会社パンフレット」など伝統的メディアの利用が多い。

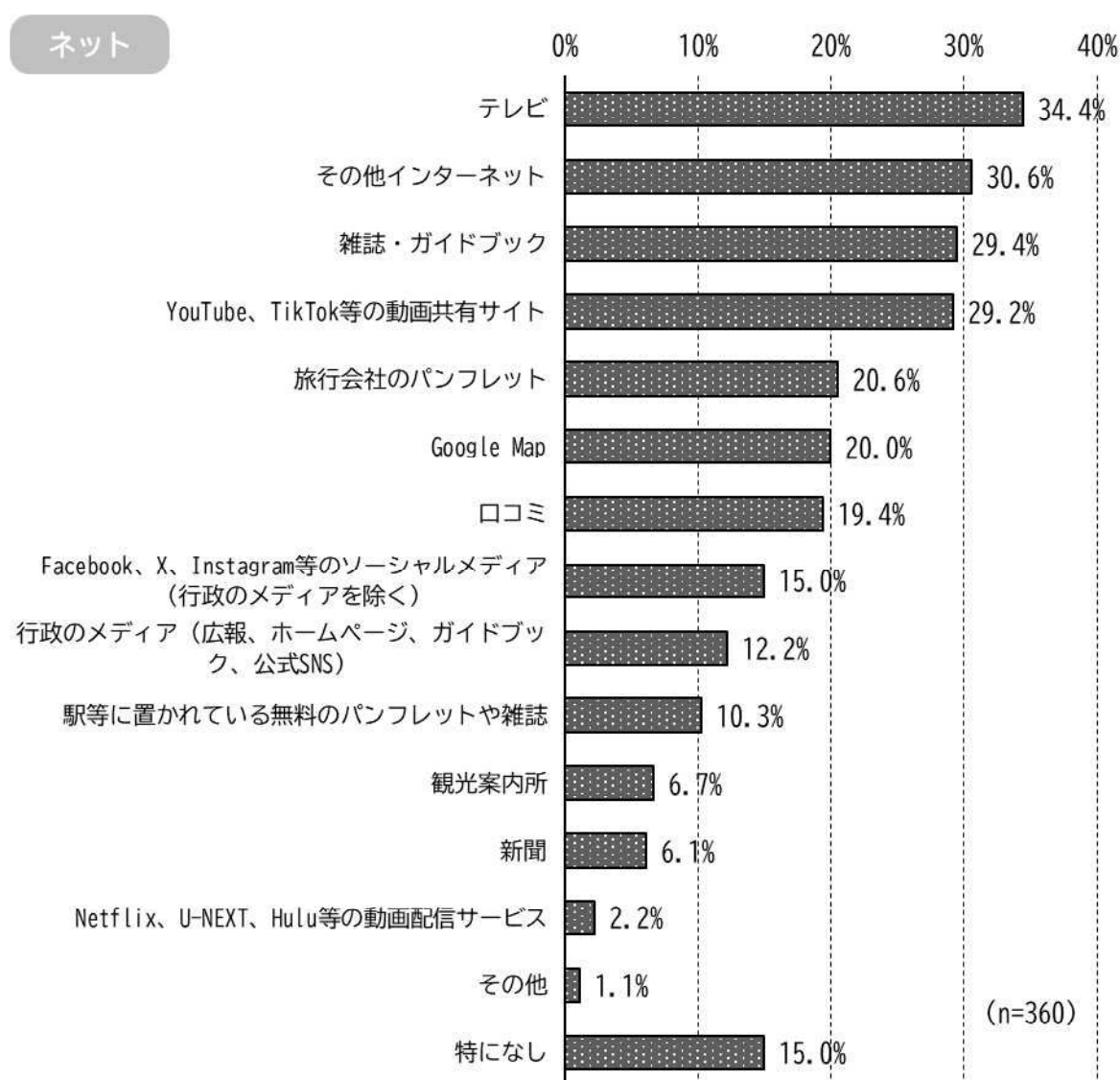


図 2-15 葛飾区訪問未経験者の国内旅行計画の観光情報源 (複数回答)

2. 東京周辺で行ったことがある場所 ～女性や若年層はTDL、男性は秋葉原～

東京とその周辺の観光スポットで行ったことがあるところを、訪問回数の多い場所から 5 つまで選んでもらったところ、「東京駅（42.2%）」「東京ディズニーリゾート（37.8%）」「横浜（31.9%）」「新宿（30.0%）」「渋谷（29.2%）」が訪問経験の上位を占めた。

女性では「東京ディズニーリゾート」「お台場・銀座」、男性では「秋葉原」が多い。年代別では、20～30代で「東京ディズニーリゾート」、70歳以上で「銀座」の訪問経験率が高い。

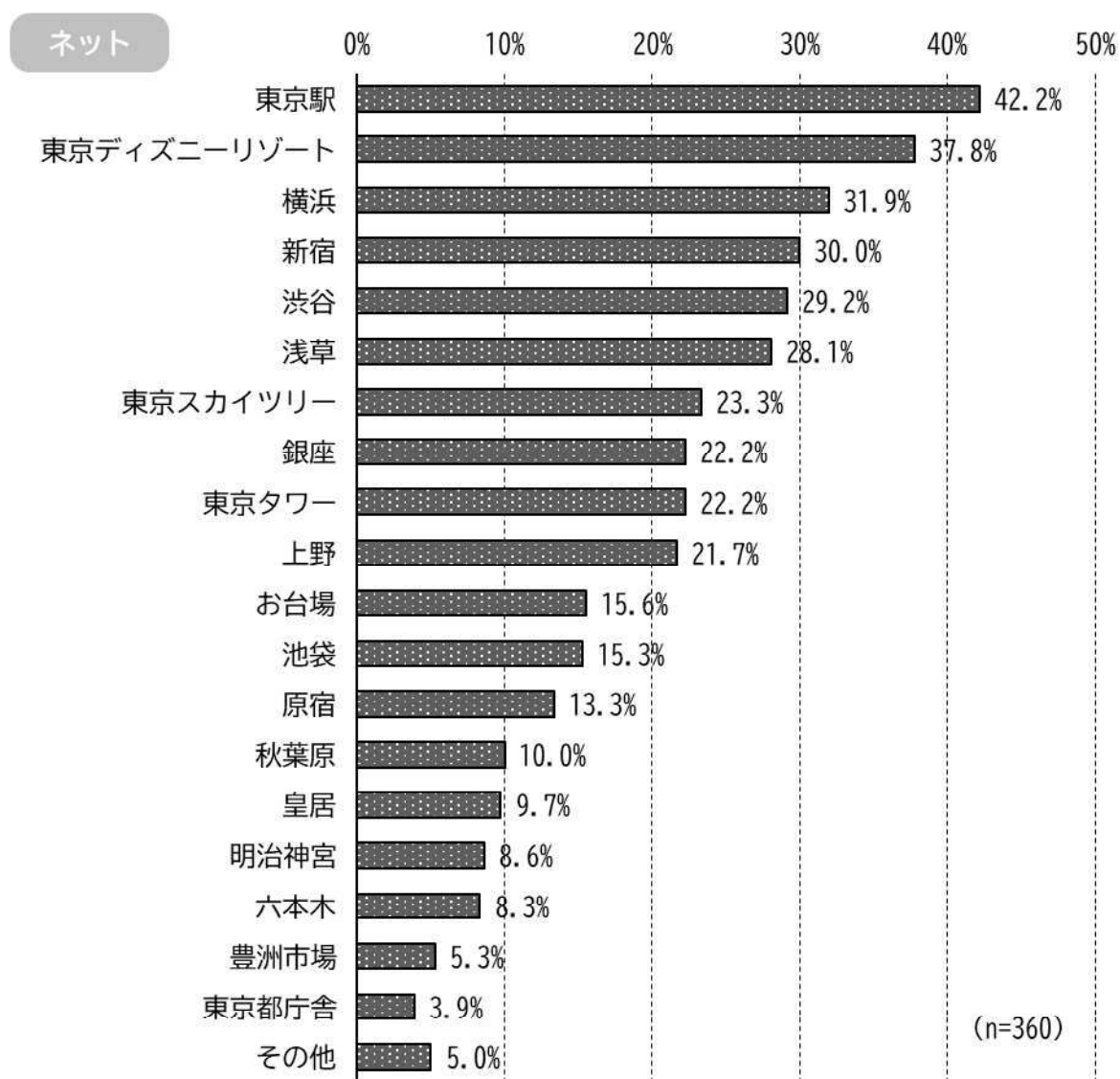


図 2-16 葛飾区訪問未経験者が東京周辺で行ったことのあるところ（複数回答）

3. 葛飾区の観光イメージ ～「下町の風情」のイメージは若年層で弱まる傾向～

「下町の風情」(48.3%)が圧倒的に多く、「映画やドラマ、アニメ等のキャラクター」(24.2%)が続く。「特にイメージはない」(28.9%)も高い。

男性や60代以上で「下町の風情」が特に高く、若年層や女性では「イメージがない」が目立つ。地域別では、関東・北海道・東北で「下町の風情」のイメージが強い。

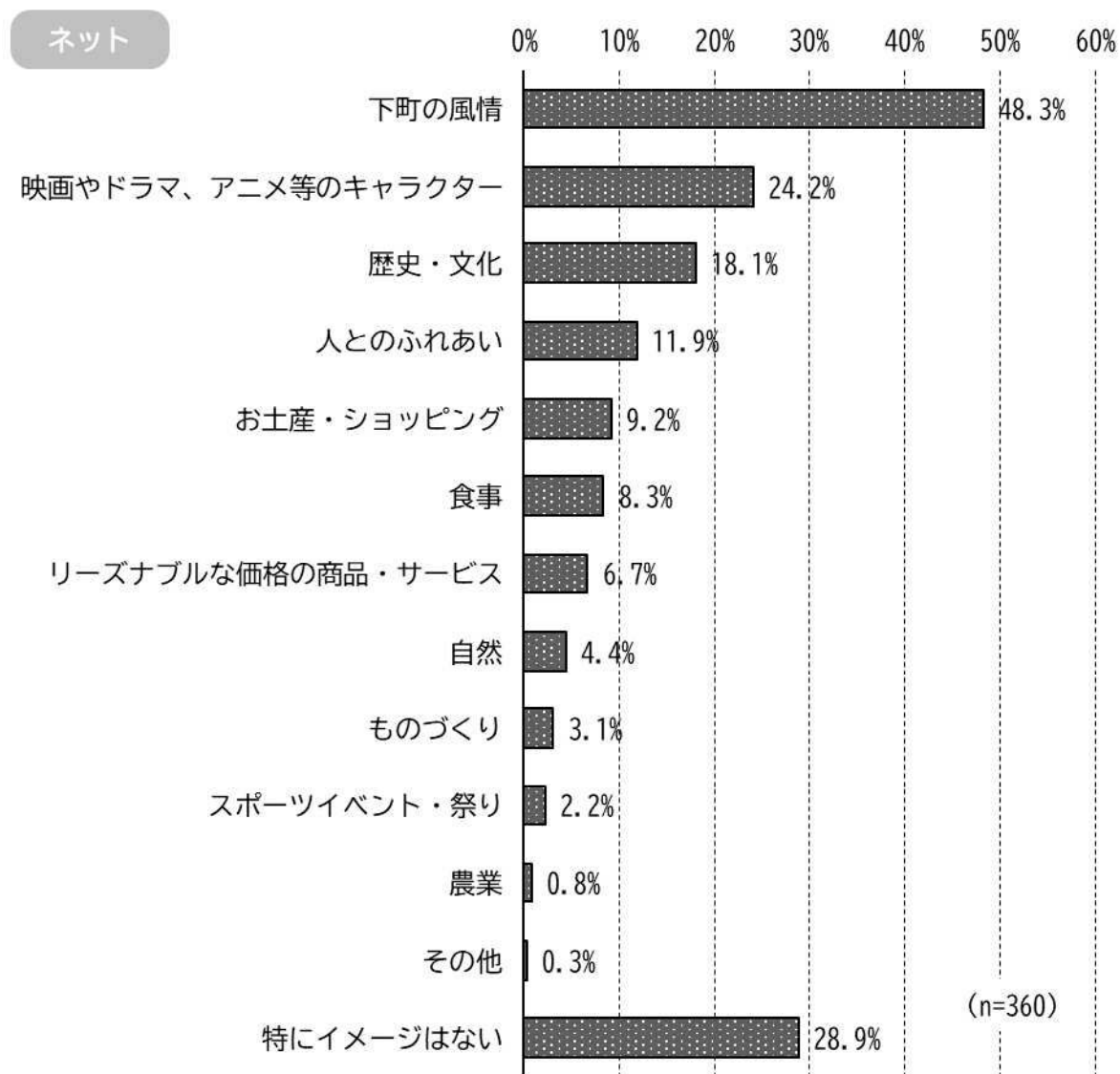


図 2-17 葛飾区訪問未経験者が持つ葛飾区の観光イメージ（複数回答）

4. 観光資源の認知率と訪問希望率 ～シニアで強い寅さん認知、若年層で弱まる～

葛飾区の主な観光資源の認知度では、「柴又帝釈天・参道」(40.0%)、「寅さん像・さくら像」(34.4%) など“寅さん”に係る観光資源の知名度が高い。また、令和7年3月に開館した「こち亀記念館」の認知度も28.6%と高い。属性別では、70歳以上で「柴又帝釈天・参道」等の伝統資源の認知が高く、15～29歳では「知っているものはない」が目立つ。

訪問希望率では「柴又帝釈天・参道」(24.7%) が最も高く、次いで「寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」(16.7%) が高い。「こち亀記念館」「両さん像」のほか、「伝統産業の見学・体験」の訪問希望も一定数存在する。

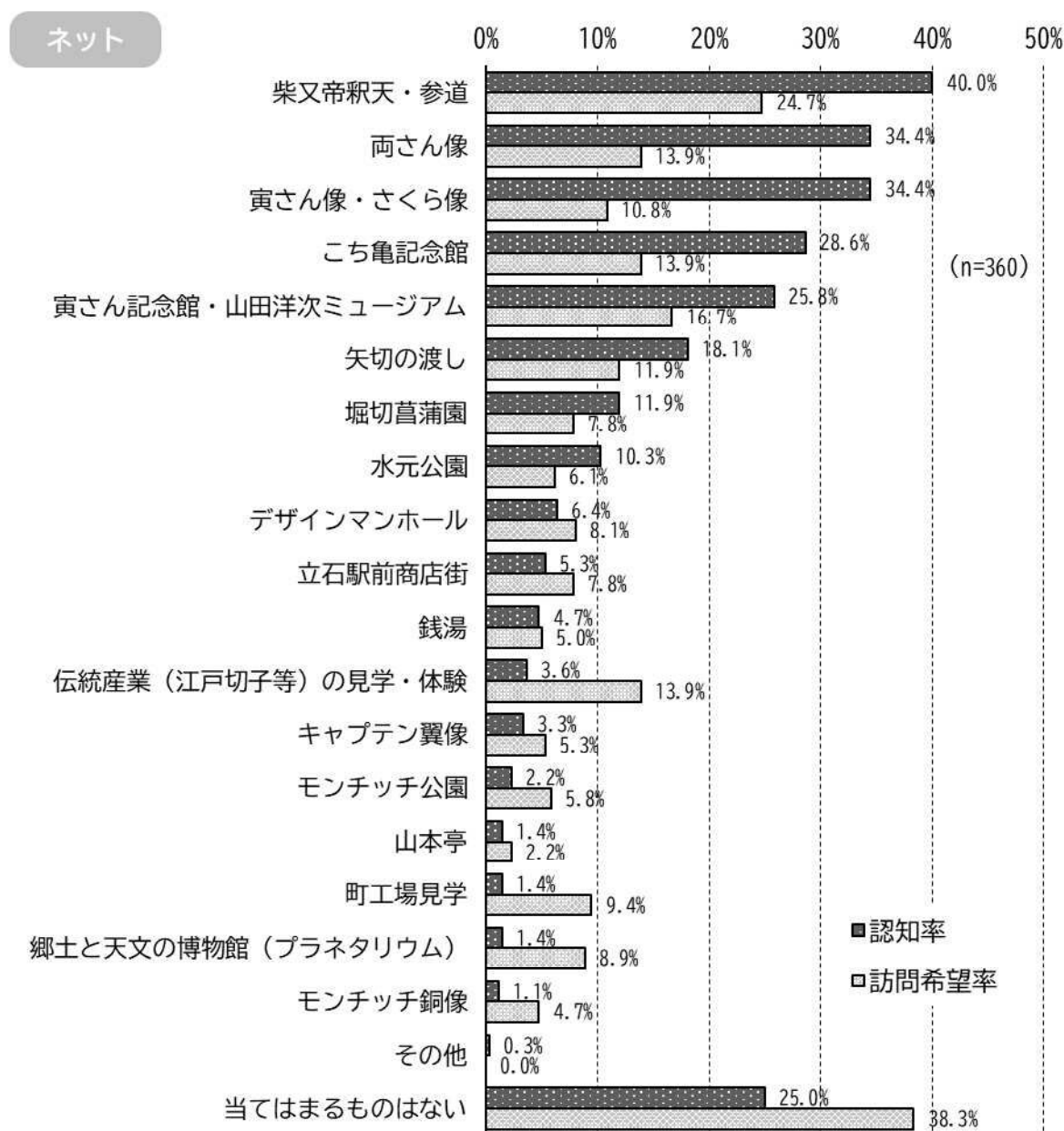
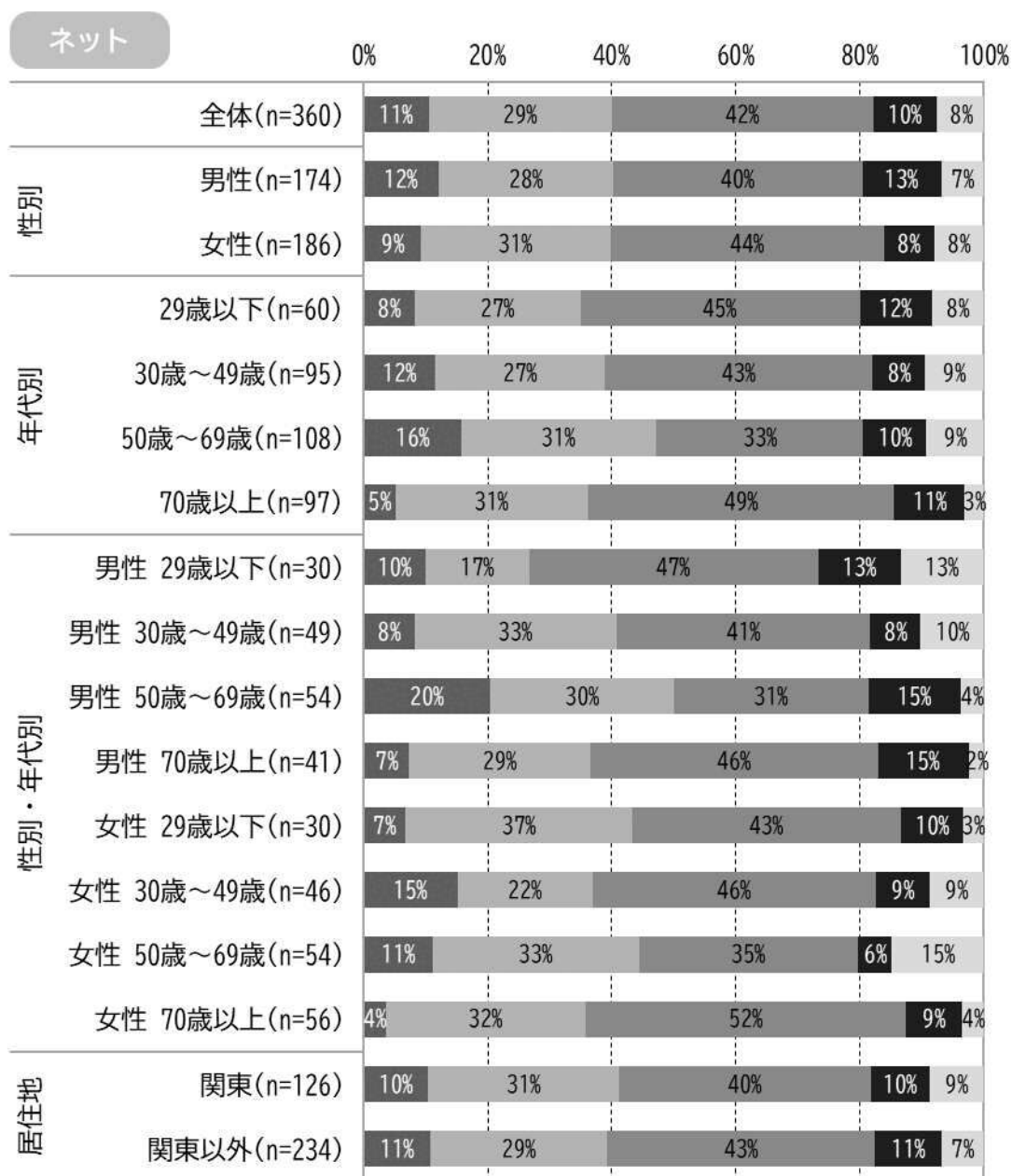


図 2-18 葛飾区訪問未経験者の区内観光資源の認知率と訪問希望率（複数回答）

5. 葛飾区への訪問意向

葛飾区訪問未経験者における葛飾区への訪問意向は、「ぜひ訪れたい」「やや訪れたい」を合わせて40.0%、「どちらともいえない」が42.2%、「あまり訪れたくない」が17.8%である。男性や50代で「ぜひ訪れたい」が高く、葛飾区への訪問に意欲的である。一方、女性や70代以上は「どちらともいえない」が高い。



■ぜひ訪れたい ■やや訪れたい ■どちらともいえない ■あまり訪れたくない ■全く訪れたくない

図 2-19 葛飾区訪問未経験者の葛飾区への訪問意向

6. 総括

葛飾区訪問未経験者を対象とするインターネット調査結果より、葛飾区の観光市場は“下町の風情”や漫画・映画キャラクター資源が高い認知を持つ一方で、若年層・女性を中心にイメージが形成されていない層も多いことが明らかとなった。観光情報源や観光ニーズは年代・性別で大きく異なり、シニア層は伝統的な観光資源やメディアへの関心が引き続き高い一方、若年層ではデジタルメディアへの関心が高く従来型の観光資源・体験への関心が低い傾向がみられる。

訪問意向は「どちらともいえない」層が最多であり、関心喚起の余地が大きい。既存資源への支持は年代・属性により異なるため、ターゲットごとに訴求軸を変えるアプローチが有効と考える。

2.6. 帰宅困難者数の推計と旅行中の災害時に求められる対応

大規模地震や風水害等の災害が発生した場合、公共交通機関の運行停止や道路網の寸断等により、自宅へ帰ることが困難となる者、いわゆる「帰宅困難者」が発生する可能性がある。住民や通勤・通学者に加え、葛飾区外から訪れている日本人観光客が帰宅困難者となる状況も想定される。

こうした帰宅困難者の発生は、主要駅周辺や観光拠点等における一時的な滞留や混雑を引き起こし、周辺環境や災害対応全体に影響を及ぼすおそれがある。そのため、災害時における帰宅困難者の発生規模を一定の前提条件のもとで把握しておくことは、関係機関による対応の検討や、必要となる受入体制のあり方を考える上で、基礎的な情報となる。

本節では、葛飾区の日本人観光客を対象として、GPSデータを用いることにより、災害発生時に想定される「帰宅困難者数」を一定の前提条件の下で算出した。具体的には、葛飾区内の主要観光スポットの来訪者数（20km 圏内居住者を除く）を1時間単位で計測し、地域ごとに集計した人数を「帰宅困難者数」と想定した。帰宅困難者数の月内（2024年4月、7月、10月、2025年1月）の最大値と中央値を表2-5に示す。

1) 地域別の帰宅困難者数

昼間（12時台）の帰宅困難者のピークは土日祝日で1日に2,000人規模であり、【①柴又地域】や【④亀有地域】の人数が他地域に比べ多い。なお、平日のピークは1,000人前後である。

夜間（24時台）の帰宅困難者は、基本的には駅前に宿泊施設が複数立地する【⑥新小岩地域】に多い（2025年1月で最大680人規模）。しかし、民泊など住宅型宿泊施設が複数立地する【③堀切地域】や【その他地域】（青戸・高砂など）でも、1日に300人前後が滞在している日もあると見受けられる。

表 2-5 地域別にみる帰宅困難者数（令和6年度）

◆2024年4月

（単位：人日）

	平日				土日祝日			
	昼間（12時台）		夜間（24時台）		昼間（12時台）		夜間（24時台）	
	最大値	中央値	最大値	中央値	最大値	中央値	最大値	中央値
①柴又地域	765	362	-	-	2,097	984	-	-
②金町・水元地域	1,395	846	54	-	1,281	936	-	-
③堀切地域	148	-	439	116	325	120	213	162
④亀有地域	819	502	88	-	1,947	760	117	62
⑤四つ木・立石地域	927	188	103	-	438	184	118	-
⑥新小岩地域	258	71	495	151	232	124	454	213
その他地域	48	-	168	77	78	-	126	75

◆2024年7月

（単位：人日）

	平日				土日祝日			
	昼間（12時台）		夜間（24時台）		昼間（12時台）		夜間（24時台）	
	最大値	中央値	最大値	中央値	最大値	中央値	最大値	中央値
①柴又地域	543	216	-	-	967	608	-	-
②金町・水元地域	473	275	-	-	576	346	57	-
③堀切地域	187	50	500	269	144	52	341	157
④亀有地域	664	508	204	22	1,248	925	68	-
⑤四つ木・立石地域	1,239	199	104	-	517	184	141	-
⑥新小岩地域	412	76	527	213	207	101	277	121
その他地域	118	-	184	-	138	-	167	-

◆2024年10月

（単位：人日）

	平日				土日祝日			
	昼間（12時台）		夜間（24時台）		昼間（12時台）		夜間（24時台）	
	最大値	中央値	最大値	中央値	最大値	中央値	最大値	中央値
①柴又地域	787	313	-	-	2,210	955	-	-
②金町・水元地域	688	285	74	-	1,050	526	-	-
③堀切地域	296	44	362	132	447	54	250	86
④亀有地域	957	513	187	99	1,244	978	171	-
⑤四つ木・立石地域	501	163	117	-	535	219	-	-
⑥新小岩地域	205	56	458	158	583	106	316	207
その他地域	67	-	173	-	180	-	359	81

◆2025年1月

（単位：人日）

	平日				土日祝日			
	昼間（12時台）		夜間（24時台）		昼間（12時台）		夜間（24時台）	
	最大値	中央値	最大値	中央値	最大値	中央値	最大値	中央値
①柴又地域	702	359	-	-	2,198	1,483	-	-
②金町・水元地域	470	131	55	-	493	152	57	-
③堀切地域	224	52	289	103	425	74	276	158
④亀有地域	860	445	213	72	2,377	845	174	-
⑤四つ木・立石地域	1,176	172	139	-	392	258	118	-
⑥新小岩地域	210	-	680	199	344	137	591	96
その他地域	67	-	266	-	108	-	270	-

 各月・時間帯における帰宅困難者数最大の地域

注）12/30～1/3は土日祝日に含めている。

2) ゴールデンウィークにおける帰宅困難者数

ゴールデンウィークの帰宅困難者数を時間帯別に観察する。【①柴又地域】で12～14時台に2,000人規模、【④亀有地域】で12時～14時台に1,300人規模の帰宅困難者の発生が見込まれる。

表 2-6 繁忙期における帰宅困難者数（令和6年度）

◆ゴールデンウィーク（2024年5月3日）		（単位：人日）						
	8時	10時	12時	14時	16時	18時	20時	22時
①柴又地域	181	1,362	2,179	2,224	874	-	-	-
②金町・水元地域	103	446	978	683	422	150	-	-
③堀切地域	-	-	91	230	-	-	43	177
④亀有地域	315	305	1,374	1,444	1,353	996	469	229
⑤四つ木・立石地域	53	260	458	366	440	379	162	69
⑥新小岩地域	239	284	327	600	538	399	287	287
その他地域	69	-	-	-	69	-	76	160

地域ごとの帰宅困難者数最大の時間帯

3) 旅行中の災害時に求められる対応

葛飾区訪問経験者を対象とするインターネット調査結果等に基づき、旅行中の災害時に求められる対応について整理する。

1. 旅行中の災害時に求められる情報

葛飾区観光客が旅行中の災害時に必要と考える情報として、「公共交通機関の運行状況」(52.9%)、「安全な避難場所の場所と行き方」(50.4%)、「現在の正確な災害状況」(48.4%)、「滞在している地域や周辺の危険情報」(41.7%)が上位に挙げられた。特に女性や高齢層でこれらの情報ニーズが高く、訪問回数が多い層ほど災害時の情報重視傾向が強い。

また、「名所・旧跡」や「ロケ地巡り」目的の客層では、正確な災害情報や避難案内、交通情報への関心が他層より高い傾向がみられた。

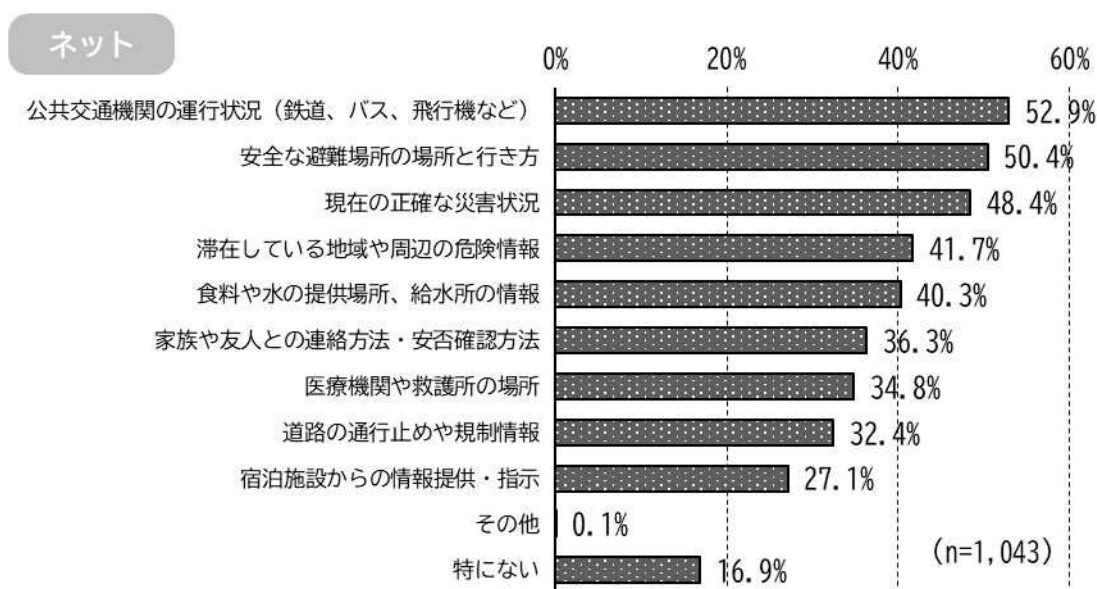


図 2-20 旅行中の災害時に求められる情報（複数回答）

2. 災害時に必要とされる支援物品

支援物品としては「食料や飲料水」(69.0%)、「携帯電話のモバイルバッテリー」(54.5%)、「簡易トイレや衛生用品」(54.1%)、「毛布や防寒具」(51.0%)が重視されている。関東在住者やリピーター層で特に生活必需品・情報機器のニーズが高い傾向がみられた。

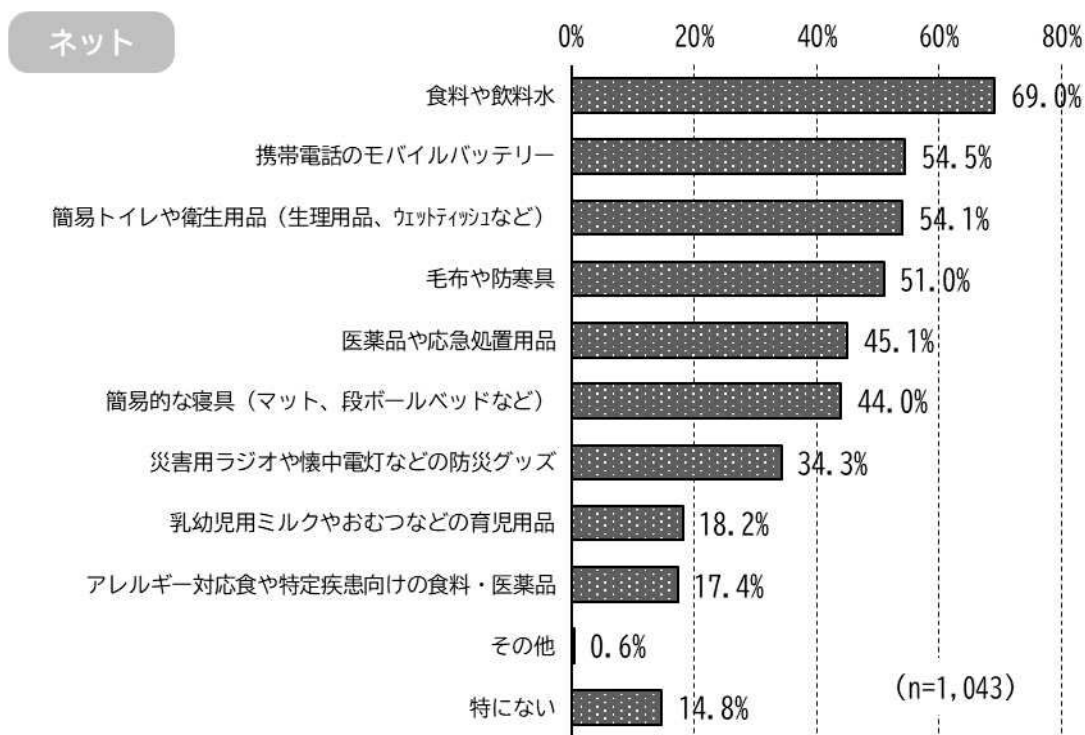


図 2-21 災害時に必要とされる支援物品（複数回答）

3. 総括

旅行中の災害時には、観光客は自身の安全確保と迅速な避難行動のため、「交通機関の運行状況」「安全な避難場所」「災害状況」の正確な情報提供を強く求めている。加えて、食料・水・情報端末の充電・衛生用品など、観光客特有ということではなく、基本的な生活物資へのニーズも高く、これらの供給体制の整備が不可欠である。特に女性や高齢層、高頻度訪問層は災害対応情報に対する期待が高い。

2.7. RESAS観光マップを活用した周辺地域との比較

本節では、RESAS観光マップを活用して、葛飾区とその周辺の地域の滞在人口（観光入込客に相当）を比較する。

RESASは、地域経済に関するビッグデータを地図上やグラフで見える化できる政府のシステムであり、内閣府と経済産業省が提供している。RESASの一機能として「観光マップ」があり、メッシュ単位で滞在人口を概観することができる。本節では、葛飾区の観光入込客数の実態を周辺の地域と比較する目的でRESAS観光マップを活用する。

昼間の滞在人口（東京都居住者を除く）をみると、葛飾区内では柴又駅や亀有駅をはじめ、綾瀬駅、京成高砂駅、青砥駅、新小岩駅の周辺で滞在人口が局所的に大きいが、上野、浅草は広範囲にわたって滞在人口が大きい様子が見える。常磐線沿線では北千住駅周辺の滞在人口の広がりも大きい。

夜間の滞在人口（東京都居住者を除く）をみると、上野や浅草周辺の集積にはかなわないが、葛飾区内では大規模宿泊施設の立地する綾瀬駅と新小岩駅周辺に滞在人口の集積がみられる。局所的ではあるが、京成高砂駅や青砥駅、亀有駅の周辺、四つ木エリアにも滞在人口の多いメッシュが存在しており、住宅型宿泊施設の利用者がここに宿泊している可能性がある。

[昼間 (13時)]



[夜間 (3時)]



出典：地域経済分析システム RESAS ウェブサイト (<https://resas.go.jp/population-composition>)

図 2-22 RESAS 観光マップ滞留人口（令和 6 年、東京都居住者を除く）